

地方議会議員 養成講座

第Ⅰ部 第Ⅱ部 令和4(2022)年度～令和5(2023)年度

主催：地方議会 未来への種まき研究会

後援：グリーンシード21

目的：次世代への継承

地方議会議員 養成講座 開催の目的

「地方議会議員のなり手がいない」、民主主義を実現するための根幹装置＝「議会」の存続すら危ぶまれる事態に地方は陥っています。平成31年の統一地方選挙では、約4分の1の町村議選で立候補者数が定数を上回らず、無投票となりました*1。また、議員になるものの、1期で辞めてしまうケースも散見されます。

北海道の地方が置かれている現状は、年々、厳しさを増しています。出生数の減少、社会的人口移動による人口減少と人材流出、生まれた土地で世代交代を繰り返しながら生きていくことが難しい現状が、この国にはあります。これを解決する1つの方法が、議会に人材が集まり、適確な政策を形成して、首長や市役所・町村役場職員に実行してもらうことと、わたしたちは考えます。市町村を、北海道を、この国を造るのは人・人材です。

これからの自治体の命運を握るのは選挙で選ばれる優れたリーダーたちです。現に、4年間で10%の人口減となっている自治体がある一方、優れた議会や首長が率いる自治体は、人口減少を抑え、不利な条件の中で人口増を達成している町*2さえあります。

わたしたち「地方議会未来への種まき研究会」は、地方議会議員の自主的勉強会「グリーンシード21」*3に所属する議員メンバーです。平成7年の設立から、学者・研究者、国や道の職員、経済界の方々のご支援・ご協力をいただきながら、勉強を重ねてきました。

会員は、地元に戻って学んだことを実践し、一定の成果や実績を上げてきました。勉強会を重ねる中で、「地方の将来を担う次世代の人材育成も、わたしたちがやるべきことではないのか」という意見が出てきました。特に、議員が、自らの自治体の問題を解決するために、情報を集め、講師を見つけ、共に勉強する中で獲得していった人的ネットワークの蓄積を、次世代に引き継いでいきたいと考えています。

この講座では、令和5年度に予定されている統一地方選挙に向け、今後の地方・地域社会の在り方を真摯に考える機会を設け、これからの地方を担う人たちの人間的資質の向上を目指します。一方で、選挙の経済的負担はどれくらいあるのか、選挙はどうやるのか等々、議員を目指す上で障壁と考えられることについても赤裸々な情報提供を行い、地方の将来を担う人たちが議員を志す機運の醸成を図ることを目的とします。また、当選回数の浅い、若手市町村議会議員にも参加を促し、議員の資質向上を目指します。

*1:参考資料1:地方議会議員のなり手不足の現状と対策(抜粋)

*2:参考資料2:平成31年から令和3年の北海道内の自治体の人口増減(総務省自治行政局公開データより)

*3:参考資料3:グリーンシード21の紹介(<http://greenseed21.jp/>)



地方議会議員 養成講座 概要

講座の目的：

- 地方・地域社会の将来を担う人材の育成
- 地方の将来を担う人たちが議員を志す機運の醸成
- 市町村議会議員の資質の向上

講座の内容：

第Ⅰ部 令和4(2022)年度 地方を担う人材の育成

学者・研究者，地方に目を向けている実業家，実績をあげている議員などを講師に，北海道の地方の現状分析，議員に求められる資質，優れた議員活動，立候補の動機，立候補の準備，政策形成等々をテーマに，参加者討論型の勉強会を重ねる。また，公職選挙法・選挙の実際について学ぶ。

第Ⅱ部 令和5(2023)年度 議員の資質の育成

学者・研究者，総務省職員，ジャーナリスト，先輩議員などを講師に，議員に求められる資質，行政指標の意味、自治体財政の基礎知識，予算書・決算書の読み解き方，議場で質すべきこと，まちづくりのための活動≠イベント開催，条例の作り方，有権者への情報提供の方法等々、精神論ではない実務的な議員活動について学ぶ。

受講対象者：

- 地方・地域社会の将来を担おうとする人たち
- 市町村議会議員を目指そうとする人たち
- 当選回数の浅い(おおむね3期までの)市町村議会議員

講座の定員：

- 30人

主催：

- 地方議会未来への種まき研究会

推進体制：

- 座長 辻 弘之(登別市議会議長)
事務局長 千葉 一幸(稚内市議会議員)
企画委員 内山 美穂子(幕別町議会議員)
企画委員 柏野 大介(恵庭市議会議員)
企画委員 小寺 光一(羽幌町議会議員)
相談役 菅原 章嗣(喜茂別町前町長)

申込先：

info@greenseed21.jp 宛に

参加を希望する旨を書いた電子メールをお送りください。
(「申込用紙」を添付した電子メールを返信します。)

参加費：年間 10,000円

地方議会議員 養成講座 第I部 令和4年度 内容

キックオフフォーラム

日時：令和4(2022)年1月22日(土)15時00分～17時30分

会場：北農健保会館 特別会議室(オンライン配信)

※新型コロナウイルス感染症対策のため、会場に来て参加する人数には制限があります。

地方議会議員養成講座の概要を紹介するフォーラムです。ご興味のある方は、事前に以下のメールアドレスにメールをいただきましたら、ミーティングIDとパスコードをお伝えします。

オンライン参加申込先：info@greenseed21.jp

概要：講座の開催にあたり、グリーンシード21を長年、親身にご指導いただいている2人の研究者を講師に、新型コロナウイルス感染症終息後の北海道の課題、地域発展のためのご提言をいただき、地方議会議員養成講座が目指すものを多くの人に知っていただく機会を設けます。キックオフフォーラムの内容は、一定期間、youtubeチャンネルで公開します。

テーマ：感染症終息後、北海道の地方自治体がとるべき戦略

講師：小磯 修二 さん(北海道観光振興機構 代表理事・会長)

山崎 幹根 さん(北海道大学公共政策大学院 教授)

内容：新型コロナウイルス感染症が収まった後、北海道の地方が歩むべき道は？北海道の地方自治体は、これから何に取り組むべきか？地方議会議員が果たすべき役割は何か？

進行役：辻 弘之(登別市議会議員)

第1回 地方議会・議員とは？

日時：令和4(2022)年4月9日(土) 15時00分～17時30分

会場：札幌市内(ストリーミング配信)

※参加者は、講座参加者とグリーンシード21会員に限らせていただきます

テーマ：議員とは何のために存在しているのか

概要：そもそも民主主義とは何なのか、地方自治は何を意味するのか、議員とは何のために存在しているのか、様々な「公共的」なものが衰退している中で、どのようにこれからの地方政治を展開していくべきなのか、地方で民主主義を実現するため、地方議会・地方政治の現状と課題を学びます。

講師：吉田 徹 さん(同志社大学政策学部 教授)

進行役：グリーンシード21会員

地方議会議員 養成講座 第I部 令和4年度 内容

第2回 地方を支える企業から見た北海道の課題

日時：令和4(2022)年6月18日(土) 15時00分～17時30分

会場：札幌市内(ストーリーミング配信)

※参加者は、講座参加者とグリーンシード21会員に限らせていただきます

テーマ：北海道の地方が生き抜く戦略

概要：「買い物難民」，「商店が無い自治体」，生活の困難ばかりか，人としてふるさどで生存していくことすら難しい地域が出てきています。「限界集落」，「消滅危機集落」，これらの重い課題に，適確な手立てを講じた自治体はありません。

この状況の中で，採算を見極め，会社の持続性を考えながら，「地域のインフラ産業」を標榜して，小売店経営を続ける若手経営者がいます。行政とは違う視点で，北海道の地方を見つめ，「地域格差を無くす」を経営哲学として企業を率いる経済人から，地方再生のヒントを得ます。

講師：富山 浩樹さん(サツドラホールディングス株式会社 代表取締役社長)

内容：民間企業の立場から北海道の地方の暮らしを支える理

念進行役：グリーンシード21会員

第3回 なぜ、議員を目指すのか？なぜ、議員になったのか？

日時：令和4(2022)年8月20日(土)15時00分～17時30分

会場：札幌市内(ストーリーミング配信)

※参加者は、講座参加者とグリーンシード21会員に限らせていただきます

テーマ：なぜ、市町村議会議員を目指したのか？その実際

概要：「議員のなり手がいない」，この深刻な状況に，国・総務省が「地方議会・議員のあり方に関する研究会」を発足させるまでになりました。しかし，一方で「議員になる」ことを選択した人たちがいます。彼らは「なぜ，議員を目指したのか？」，「なぜ，議員になったのか？」，そして「なってみて，どうだったのか？」個別事情や周辺の思惑も含めたさまざまな事情を先輩議員が伝え，さまざまな疑問に誠実に答えます。

先輩議員：辻 弘之(登別市議会 議長)

内山 美穂子(幕別町議会 議員)

千葉 一幸(稚内市議会 議員)

内容：先輩議員への忖度や容赦のない質問と先輩議員の誠実な応答

進行役：青山 剛(元室蘭市議会議員 室蘭市長)

地方議会議員 養成講座 第I部 令和4年度 内容

第4回 地方議会議員の活動の実際 まちの課題を解決する

日時：令和4(2022)年10月中の土曜日15時00分～17時30分

会場：札幌市内か登別市内(ストーリーミング配信)

※参加者は、講座参加者とグリーンシード21会員に限らせていただきます

概要：地方議会議員は何をしているのか？選挙の前になったらパンフレットを持ってお願いに来る姿しか思い出せないという人も多くいます。議場で市役所や町村役場の担当者に質問をしている姿を知っている人は関係者に限られます。

議員の活動の成果が、新聞やテレビで取り上げられることは、めったにありません。その中で、「生きることを支えあう自殺対策条例」や「宿泊税条例」は議員提案で制定され、メディアが詳細に取り上げた数少ない事例です。条例制定という議員本来の役目を果たすために必要なコトは何か、これらの条例を作り上げた議員から、議員本来の仕事を学びます。

テーマ：条例づくりの実際 条例可決に必要なコト

講師：辻 弘之(登別市議会 議長)

登別市社会福祉協議会 職員(要請中)

内容：「登別市生きることを支えあう自殺対策条例」全17条に込めた意味、条例逐次解説、条例文の作文、条例を議会で成立させるために必要な要件

進行役：グリーンシード21会員

第5回 選挙・立候補の前に…

日時：令和4(2022)年12月18日(土)15時00分～17時30分

会場：札幌市内(ストーリーミング配信)

※参加者は、講座参加者とグリーンシード21会員に限らせていただきます

概要：選挙への立候補、「周りに押され、勢いだけで立候補した」という議員は、相当数います。しかし、議員になった人たちの多くが、議員になって後悔はしていないものの「立候補の前に一度、立ち止まって考えるべきことがあった」と言います。多くの議会に存在する「会派」と「まちの実力者」の存在は、予想以上にさまざまな影響が及びます。政策づくり、ポスターづくり、選挙カーの値段等々、さまざまな事、かかるお金について先輩議員が誠実に答えます。

先輩議員：柏野 大介(恵庭市議会 議員)

横田 美樹(留萌市議会 議員)

進行役：グリーンシード21会員

地方議会議員 養成講座 第Ⅰ部 令和4年度 内容

第6回 立候補の準備と公職選挙法

日時：令和5(2023)年1月中の土曜日15時00分～17時30分

会場：札幌市内(ストリーミング配信)

※参加者は、講座参加者とグリーンシード21会員に限らせていただきます

概要：令和5(2023)年の統一地方選挙に立候補する際、最低限、知っておかなければならないことがあります。この国の選挙は「公職選挙法」に則って実施されます。法律には何が書かれているのか？重要なのはどこか？やっていいこととやってはいけないことは何か、事務所設置、選挙カーの大きさ、たすき、腕章、ポスター、確認団体、資金管理団体など、立候補に必要な準備と、選挙後に提出が必要な書類に添付しなければならない書類などについて、実務を学びます。

テーマ：立候補の準備と選挙の事務作業

講師：元北海道選挙管理委員会 職員

内容：公職選挙法の逐次解説、選挙に必要な事務

進行役：グリーンシード21会員

地方議会議員 養成講座 第Ⅱ部 令和5年度 予定

第1回 地方議会議員に求められる資質と能力①

日時：令和5(2023)年4月

講師：山崎 幹根さん(北海道大学公共政策大学院 教授)

内容：北海道の地方自治体が置かれている現状

地方議会議員は何をしなければならないのか

第2回 地方議会議員に求められる資質と能力②

日時：令和5(2023)年6月

講師：北海道庁財政課 元職員(要請中)

内容：行政文書の読み解き方 予算書・決算書の見方

款項目節，費目と数値，その意味

行政指標の何に着目すべきか

第3回 地方議会議員に求められる資質と能力③

日時：令和5(2023)年8月

講師：報道機関 元デスク

内容：定例会の性格 何を聞かなければならないのか

行政が発表する数値のまやかし，その見分け方

いい議会質問と悪い議会質問 具体事例を元に

第4回 地方議会議員に求められる資質と能力④

日時：令和5(2023)年10月

講師：柏野 大介(恵庭市議会 議員)

内山 美穂子(幕別町議会 議員)

内容：議員の活動報告，かかる費用，継続は力なり

後援会活動と選挙活動の違い

第5回 地方議会議員に求められる資質と能力⑤

日時：令和5(2023)年12月

講師：小路 健夫さん(元安平町議会 議員)

谷 一之(元下川町議会 議員,下川町 町長)

内容：議場が議員の活動の場ではない

“議員として”こうやって人口を増やした

議員としてというよりも「人として」

第6回，第7回 地方議会議員養成講座の成果・評価①，②

日時：令和5(2023)年2月,3月

参加者の活動報告会

講評：山崎 幹根さん(北海道大学公共政策大学院 教授)

